

新しい情報検索サービス

三 浦 育 子（総合閲覧課長）

図書館では、積極的にデータベース利用環境の充実を進めてきていますが、最近では二次情報データベース（索引検索が主）と一次情報データベース（全文提供）をリンクさせたり、図書館のWINEの画面にリンクして所蔵を確認することなども可能となっています。是非、新しい利用法をお試しく下さい。今回は本誌No.65に続き、最近受け入れたデータベースから次の2つをご紹介します。

Web of Science

ISI（Institute for Scientific Information）社が提供するSCI（Science Citation Index）、SSCI（Social Science Citation Index）、A&HCI（Arts & Humanities Citation Index）をWWW上で使えるデータベースです。これまで、学内数か所でCD-ROMを提供してきましたが、1991年以降のデータについて2000年12月20日から全学での共同利用にふみきました。アクセス数の制限はありますが自由にご利用いただけます。

詳しい内容については、図書館ホームページの「学術情報リンク集」トップページにある[説明]の項をご参照ください。

(<http://www.wul.waseda.ac.jp/link/link-j.html>)

Searchの方法には“Full Search”と“Easy Search”があり、検索条件によって選択できます。例えばSSCIで1991年以降のデータからタイトルに“university”と“Japan”を含む論文を探してみます。そのうち、Rebeck ME（注：このDBではファーストネームはイニシャルのみの表示）著の“Oxford Economic Papers-New Series”52(3)に掲載された論文を見るとまず、Abstractがみられます。Cited Referencesでは引用している論文が確認でき、その論文を引用している他の論文もわかります。こうして引用されたものから研究の流れや、異なる分野での応用なども知ることができます。また、この論文は発表されてから日が浅いため引用回数Times Citedは0ですが、米国ではこの引用

されている回数が多い論文ほど、すぐれた研究であるという評価を得ており、論文の重要性もわかります。画面の上に出ている“HOLDINGS”というボタンをクリックするとWINEの画面でこの雑誌は中央図書館にあることがわかります。

掲載誌が“ScienceDirect21”や図書館で契約している他の雑誌全文情報に提供されている場合は画面の上に“Science Direct”のように表示されるボタンをクリックし全文を読むことができます。

WINE画面や全文表示にする場合、“Netscape Navigator”のversionによっては文字化けしてしまうことがあります。“Microsoft Internet Explorer”をご利用の場合は不具合はありません。

1991年以前のデータを検索されたい場合は、CD-ROMおよび冊子体をご利用ください。

Enjoy JOIS

科学技術振興事業財団の作成する自然科学系データベースが2000年12月25日からオンライン利用可能となりました。これまで、CD-ROMで利用されていた『科学技術文献速報』のオンライン版“JICST”、日本国内の医学文献情報“JMEDICINE”、その他、化学、原子力分野の文献情報が得られます。ただし、表示されていてもデータベースによっては利用できないものもあります。

最初の画面で名前の入力を求められますが、名前は何を入力しても構いません。検索を終了すると使用料金が表示されますが、契約時に固定料金払いをしていますので個別には請求されません。

先回ご紹介の『朝日新聞記事データベース』は同時アクセス数が増え、接続しやすくなりました。

4月から日本経済新聞社の提供する新聞記事や企業、人事情報、経済統計などが検索できる「日経テレコン21」、日本の判例を全文検索可能な「LEX/DB」、米国の法律情報のほかに世界の新聞ニュースや人物情報を検索可能な“lexis.com”も利用可能となりますのでご活用ください。